

## 仕事と生活の調和（ワーク・ライフ・バランス）の必要性

「仕事と生活の調和が実現した社会」とは、国民一人ひとりがやりがいや充実感を感じながら働き、仕事上の責任を果たすとともに、家庭や地域生活などにおいても、子育て期、中高年期といった人生の各段階に応じて多様な生き方が選択・実現できる社会のことです。ワーク・ライフ・バランスの推進には、個人、社会全体、個々の企業・組織の各観点からの取り組みが必要です。

### 社会全体

- 労働力不足の深刻化
  - 生産性の低下・活力の衰退
  - 少子化の急速な進行
  - 地域社会のつながりの希薄化
- ⇒ 経済社会の活力向上のために必要

### 個人

- 仕事と家庭の両立が困難
    - ・ ライフスタイルや意識の変化
    - ・ 両立希望に反して仕事中心になる男性
    - ・ 家庭責任が重く、希望する形で働くのが難しい
  - 自己啓発や地域活動への参加が困難
  - 長時間労働が心身の健康に悪影響
- ⇒ 多様な働き方・生き方を実現するために必要

### 企業 個々の 組織

- 人材獲得競争の激化
    - ・ 従業員の人生の段階に応じたニーズへの対応（若年層、子育て層、介護層、高齢層）
    - ・ 意欲や満足度の向上 ・ 心身の健康の維持 ・ 女性の活用
- ⇒ 多様な人材を生かし、競争力を強化するために必要

仕事と生活の調和  
について考えてみ  
ましょう！